

日本テコンドー協会 女子門人・会員必読！

『ファイト&ライフ』 Vol.47 2015年4月号 (全国書店販売中)

特集対談記事 (52~57頁迄、6頁掲載の対談特集)

テコンドー女子増加中！

武道を取り入れたライフスタイルのススメ

上岡紀美子、市坪 愛、高 伶香、愛川ゆず季



近年、女性の社会的進出が時代のキーワードになっている。

ありとあらゆる分野に女性達が活躍している。

武道・格闘技界においても女性選手の活躍が目覚ましい。

日本テコンドー協会も例外ではない。

では、どうして武道経験のなかった彼女たちは、大学入学後、武道を志し、日本テコンドー協会加盟の体育会に入門したのであるだろうか？

どうして卒業・就職後も引き続き稽古に励み、全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会を目指しているのだろうか。

本特集は、2014年11月29日（土）、後樂園ホールで開催された日本テコンドー協会主催、第25回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会で大活躍した3名の女子トップ選手および7年連続で試割式を成功させ「ギフト」ではない実力による昇段に王手をかけた愛川ゆず季に注目し、気鋭の格闘技ライター・熊久保英幸が彼女らのモチベーションの源を6頁にかけて明らかにした。JTA女子門人・会員、とりわけ全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会を目指している女子門人必読の特集と言える。来年はあなたが取材を受ける立場になれるよう参考にさせていただきたい。のみならず女性読者層に武道を通じた新しいライフスタイルを提案するものである

取材実施日 2015年1月12日（月） JTA女子総見

場 所 JTA東京城南道場およびJTA本部事務所

司会・取材・文 熊久保英幸

対談メンバー

- ①市坪 愛（横浜市立大学体育会テコンドー部。初段。1年間海外留学、本年就職）
第23～25回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会 女子組手 3連覇
- ②高 怜香（武蔵小杉テコンドークラブ。二段。横浜市立大体育会出身。保険会社勤務）
第25回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会 女子組手 2位
- ③上岡紀美子（東京江東テコンドークラブ。初段。岡山大学体育会テコンドー部出身。商社勤務）
元全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会 女子組手 チャンピオン
第25回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会 型 3位（女子初）
- ④愛川ゆず季（東京渋谷テコンドークラブ。1級現在昇段審査継続中。
愛媛から東京の専門学校に入学上京し、JTA入門後、スカウトされ芸能界デビュー。
7年連続で全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会開会式・試割式成功している）